

Camping かがわ

事務局：高松市今里町2-8-2 西山 徹 方

TEL/Fax：087-835-0321

Email：kagawa@camping.or.jp

ファミリーサマーキャンプ ①②

事業委員会

☆場所：大滝山県民憩いの森 第1キャンプ場

☆①県協会主催：7月29日～30日：参加者94名27家族：スタッフ16名

☆②高松支部主催：8月19日～20日：参加者78名23家族：スタッフ14名



☆☆☆自然に親しみ、家族の絆を深める!! 親子172人が野外生活を体験☆☆☆

延べ50家族172人が集合。家族みんなで協力してテント設営や食事作りなどの生活体験、クラフトなどの物づくり体験、ネイチャーゲームなどの自然体験を通じて、家族の絆を深めました。

ファミリータイム 「自然物を使った工作やゲーム or 家族で過ごす」

自然物を使った工作やゲームを豊富に準備し、家族ごとの選択としました。

家族でゆっくりと自然を満喫する、という選択もあり。思い思いに楽しい時間を過ごしました。



水鉄砲づくり

1日目に実施。毎年恒例の活動。原則、全員参加。

作成した水鉄砲で2日目の最後まで楽しむ子どもたちもいました。

アユつかみと水鉄砲遊び・川遊びに備えて、多くの子どもが水着姿です。



火おこし

時々歓声が起こります。期待を込めた瞳が集まります。が、なかなか火はつきません。「煙がでた」「後一息だ」と言うところまではいくのです。それが挑戦意欲に火をつけるのか、汗びっしょりになって「あきらめずに頑張る姿」が多く見られました。

紙コプター



小石アート



木の鼓動を聞く



パチンコロケット



ネイチャーゲーム メニュー

様々な感覚を使って自然の中を歩き回る。自然と自分の関係に想いを馳せる。そんな体験を提供。

- ①フィールドビンゴ ②カモフラージュ ③目隠しトレイル ④木の鼓動

クラフト メニュー

身の回りにあるものを活用して製作。それぞれスタッフが得意なものを指導。

- ①牛乳パックでポックリ ②風ぐるまづくり ③紙玉鉄砲づくり ④割りばし鉄砲づくり ⑤丸太切り競争
⑥火おこし体験 ⑦スラックライン体験 ⑧小石アート ⑨紙コプターづくり ⑩松ぼっくりけん玉づくり
⑪パチンコロケットづくり

(作り方、実施方法等、詳細が知りたい方は、寺嶋理事長まで)

平成29年度中四国ブロック会議

☆場所：五色台ビジターセンター ☆9月2日(土)～3日(日)

本年度は当協会が幹事県。西山会長、清水理事が中心となって企画・準備し、五色台ビジターセンターで実施。本協会からは8名が出席。

**キャンプの達人紹介**

◎趣旨

「日本キャンプ協会 ビジョン 2020」のアクション1に「キャンプの知識・技術の伝承」が示され、2017年度中に「キャンプの達人」認定プログラムの開始・整備を行い、2018年度には各都道府県協会に周知して実施することとなっている。そこで、中四国ブロック各県から、「キャンプの達人」と考える人を紹介したり、達人から知識や技術を披露してもらったりすることにより、2020年に向けたビジョン達成の一助とする。

各県代表によるキャンプに関する知識や技術の披露

- ①焚火の達人(高知) ②燻製・ピザ作りの達人(岡山) ③シャボン玉作りの達人(山口)
④クラフトの達人(香川・新池幹事) (詳細が知りたい方は、西山会長まで)

香川代表 新池 保雄 幹事「クラフトの達人」 実演と実習

イス積み木、だましおもちゃ(目の錯覚を利用した玉が登る装置)、軸が伸びる不思議なおもちゃ等の紹介。その後、参加者各自がパタパタ作りを行った。(パーツは事前に準備しておいたものを配布)

青年によるキャンプミーティング

ゲストスピーチ【日本キャンプ協会事務局長 依田智義さん、国立青少年教育進行機構事業推進係 福田卓さん、広島YMCA野外教育センター長 林健児郎さん、丸亀市キャンプ協会会長 寺嶋寛さん】の話を聞き、キャンプの魅力や意義の共有、若者の視点としてこれからのキャンプの在り方について話し合った。

今後、青年の集いの継続・発展が期待される。

アウトドアクッキングを楽しもう「ツイストパン作りとテント体験」 事業委員会

かがわレクリエーションフェスティバル2017

☆場所：サンポート高松

☆日時：9月10日（日）10:00～13:00

☆参加者：69名 ☆スタッフ：8名

本協会横山副会長指導によるラジオ体操でフェスティバルがスタート。



サマーキャンプの朝食の人気メニュー「ツイストパンづくり」体験を提供。

生地をスタッフが作り、一人分ずつ参加者に渡す。参加者は竹に巻きつけるところから体験。「家庭でバーベキューをするときにやってみたい」「地域の活動でやりたい」とレシピを希望する方が10名ほど。次回はレシピのプリントを用意することに。



ツイストパン材料（一人分）

- | | | |
|----------|---------------|---------|
| ①強力粉：80g | ②ベーキングパウダー：2g | ③砂糖：15g |
| ④牛乳：15cc | ⑤卵：0.5個 | ⑥塩：少々 |

希望者には、テント設営・撤収の体験を実施した。

アウトドアクッキングを楽しもう「釜揚げうどん作り体験」

事業委員会

トリムの祭典

☆場所：高松中央公園

☆日時：10月9日（月：体育の日）10:00～15:00 ☆参加者：219名 ☆スタッフ：9名

※トッピングを「てんぷら（てんぷらうどん）」から「あげ（きつねうどん）」に変更。

県民スポレク祭

☆場所：サンポート高松

☆日時：11月12日（日）10:00～15:00 ☆参加者：111名 ☆スタッフ：7名

野外力検定会《入門編》 第2回

事業委員会

「野外力を身につけて、たくましく生きる力を高めよう」

☆場 所：多度津中学校

☆日 時：11月4日（土）12:30～17:00 5日（日）10:00～12:30

☆参加者：4日…小学生130名とその保護者 5日…小学生106名とその保護者

☆スタッフ：述べ30名（内 協会会員6名）

★少林寺拳法70周年記念事業と共催（主催は県キャンプ協会）

キャンプと私 「キャンプは『生きる力』そのもの」

横山 喜一郎

1 キャンプとの出会い

昭和51年4月から県教委・スポーツ課体育主事として5年間お世話になる中で、野外活動（キャンプ）をはじめ、親子体操・高齢者の体操、レクリエーション・ゲーム、サイクリングの普及、ラジオ体操の普及・指導、五色台トリムコースの設置など、多くのことを体験することができました。

翌年、「野外活動指導者養成研修会」開催時に、担当者の怪我により、野口課長から何の経験もない私に突然「横山、やってみるか」と言われ、驚きと不安の中で取り組んだのがキャンプとの出会いでした。

すばらしい指導者やスタッフ、参加者に恵まれた中で、研修会を無事やり遂げることができたという満足感と絆の深さを痛感し、別れ際には感激の涙があふれ出て止まりませんでした。

以来、野外活動の魅力に取りつかれ、キャンプ協会の指導者（上級・中級指導者…当時の資格）の方々やスポーツ課の先輩体育主事の指導を受けながら、少しずつ野外活動の理論・方法論・実技等を学んでいくことができ、キャンプの意義と奥の深さを痛感しながら現在に至っています。



2 心に残るキャンプ・ファイヤー

野口流キャンプ・ファイヤーは実に見事で、先生の言葉や子どもたちの生き生きとした姿が今でも脳裏にしっかりと焼き付いており、いつか先生のようなキャンプ・ファイヤーができればと思っていますが・・・。

いきなり「次の次は、横山の番ぞ〜」と指名され、ジャンケン・ゲームで何とかその場をしのぐことができましたが、私にとっては大きな試練を与えて下さったと感謝しています。以来、必ず2〜3のゲームを準備して臨むようになりました。また、自分なりに、色々なゲームを参考にしながら「ワッシュョイ・ジャンプ」・「ライオン狩り」・「ステップ拍手」などを考え、何とか持ちこたえています。

中でも「ライオン狩り」は、「おっと待った。忘れものだ〜」「〇〇を忘れた。取りに帰ろう」の〇〇は、その場の雰囲気や対象によっていろいろと変化させられるので、大人も子どもも結構喜んでゲームに参加してくれており、キャンプ・ファイヤーの中には必ず取り入れるようにしています。

薪組みにもこだわりがあり、下から2〜3段目に細木を格子状に組んだ上に、中央に細く割った木を入れ、外にいくほど太い木を斜めに入れていきます。ピラミッド状になるように組んでいくと見た目も美しく、トーチから点火された炎が中心部からまっすぐ上にのぼって行って次第に大きな炎となって天を焦がしてくれます。

また、熊手を使ってやぐらの周囲に何重もの円を描いておくと、炎が燃え盛るにつれて、影がくっきりと浮かび上がり、幻想的な光景になります。これも野口先生から40年前に教わったことで、今でも薪の質・太さ・長さ・量及び地面の状態によって、できる範囲で頑張っています。

3 キャンプ協会に対する思い

ファミリー・キャンプはリピーターも多く、「子どもの生きる力を育て、家族の絆を一層深いものにするので、できるだけ多くの家族に体験してもらうためにも、今後も継続していければと願っています。

釜揚げうどん作り体験も「うどん県香川」の宣伝効果大で、色々な場で体験の機会を持ちたいものです。

私が、「元気ですか。元気があれば・・・」と冒頭に大きな声で挨拶をするのは、心も体も元気でキャンプを楽しんでもらえるように願ったもので、すばらしい笑顔を見ると、こちらも元気が出てきます。

また、子どもたちに「集まってください」と言わなくても集まってもらえるように考えたのがハーモニカで、自然に子どもたちが集まってくれ、続いてお大人の人も集まってくれるのは嬉しいですね。

当時、若かった会員の方々も次第に歳を重ね、今では・・・。今後、野外活動の普及発展のために若い人たちに会員になってもらい、キャンプ協会が一層活性化することを願っています。（寄稿）

★★★★★★ 事務局から ★★★★★★

① 「Camping かがわ」をキャンプ協会のHPにアップしています。

今後、紙での送付を希望しない方は、会長までメールで「Camping の送付必要なし」と連絡ください。

② 各地で活動をされている方、内容をお知らせください。「Camping かがわ」で紹介していきたいと思えます。情報は、メールで会長まで。